

校長室だより

豊橋市立細谷小学校
校長室だより 第11号
令和5年10月17日発行
在籍：84名

誰もが優しい、誰にも優しい細谷 に！

車いす体験（4年）

9月22日（金）に総合的な学習の一環として、車いす体験の出前講座を行いました。実際に乗って使用者として操作をしたり、車いす使用者のサポートを体験したりしました。操作の困難さ、ちょっとした段差や小さな穴でも使用者にとっては大きな問題であることなどを肌で感じることができました。障害をもった人たちへのかかわり方や人にやさしい環境づくりについて考えることができました。



車いす体験をする4年

優しい子が育っています！

～ 話そう会での一コマ ～

水曜日の朝の時間に話そう会を行っています。校内をまわっていたらこんな場面を見かけました。それは3年生が、「タイムマシンで行けるとしたら過去と未来のどっちがいい」というテーマでお話をしているときのことです。黒板を見ると、「過去がいい」という子の理由の1つに「ウサギのミライちゃんに会えるから」とかかかれていました。ミライちゃんは、しばらく前に亡くなってしまった学校で飼育していたウサギです。一

生懸命お世話をしていたウサギを大切に思っていたことをうかがい知ることができ、ほっこりした気分になりました。改めて細谷小学校には優しい子が育っているんだなあとうれしくなりました。

盲導犬キャラバン in 豊橋

～盲導犬が細谷小にやってきた～

10月5日（木）の5限に日本盲導犬協会による訪問型特別授業が行われました。盲導犬総合センターの戸井口さん、盲導犬ユーザーの大友さん、盲導犬アメリが来校し、目の見えにくい暮らしについてや盲導犬について、全校児童にお話をしていただきました。福祉に関連する内容で低学年には難しい部分があったかもしれませんが、目の見えにくいお友達がいることもあり、全校で参加しました。豊橋には盲導犬ユーザーが2人しかいないこと、全国でも盲導犬は1000頭もいないことを知って、驚きの声が出る場面もありました。最後に大友さんが「盲導犬は、信号が判別できるわけではないので、困っている人がいたら、『信号はこちらですよ』と手助けしてほしい。」と仰ると真剣な表情でうなずく児童の姿を見ることもできました。



白杖について説明する大友さん



見えにくさを疑似体験する児童たち



盲導犬と触れ合う様子



さまざまな体験を通して、障害をもった人だけでなく、困った人がいたら、優しく声をかけ、手助けできる優しい細谷っ子が育ってほしいと願っています。